

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会  
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階  
TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp  
URL：<https://j-jafra.jp/>

巻頭レポート

## みなとみらい線の駅空間における 広告メディアとアートの位置付け

横浜の都市ブランドを支え、多様な人々が行き交う「みなとみらい線」。2004年2月に開業した同線は、昨年20周年を迎え、その歩みとともに駅空間も進化を遂げてきた。現在では、駅空間は単なる通過点ではなく、広告メディアとアートが共存・共鳴する「パブリック・コミュニケーションの場」としての存在感を高めている。広告メディアのデジタル化、そして豊かなパブリックアートの配置が、都市の価値向上と新たな体験の源となっている。

### 広告メディアの進化 「NKBクラウド」

みなとみらい線の広告メディアのデジタル化は、2008年、みなとみらい駅のホーム上に設置された「メトロメガワイドビジョン」によって幕を開けた。みなとみらい線でも早くデジタル化した、この横長の103V大画面サイネージの登場は、単なる広告掲出から、「空間と一体となるメディア」という新たな価値を

生み出した。続いて、横浜駅・みなとみらい駅の改札周辺には「NKBクラウド」配信技術を活用したタテ型デジタルサイネージが設置され、多様でターゲット性の高い情報発信が可能となった。



ホームドアビジョン - みなとみらい駅



さらに、2018年からは「ホームドアビジョン」の整備が始まり、デジタルサイネージの価値は次の局面へ進化した。2021年には、新高島駅から元町・中華街駅までの5駅でのホームドアビジョンの設置が完了。これにより、ホームからの乗降客が自然と目を向ける「ホームドア」という立地を有効活用できるようになり、単なる広告から、乗客の時間や行動に密着した情報メディアへと成長したのである。

株式会社 NKB Y's  
媒体局 メディア管理部  
部長  
岩井 一史

## 【NKB クラウド】

「NKBクラウド」は、東京・名古屋・大阪を中心に展開する、広告配信に最適化されたクラウド型デジタルサイネージ配信システムです。動画・静止画・アニメーションなど多様なコンテンツを活用し、通行量の多い駅構内や都市圏を中心に、視認性と訴求力の高い広告展開を実現します。リアルタイムでの情報更新・配信が可能のため、緊急情報やキャンペーンの即時反映にも柔軟に対応。デジタルデータによる一元管理により、複数拠点・多媒体をまたぐ運用も効率的に行えます。車内ビジョンでは鉄道会社の運行情報システムと連携し、運行状況・遅延情報・ニュース等と広告を組み合わせた価値ある情報提供が可能です。

バス車内では観光情報なども表示し、乗客の利便性と広告効果を両立しています。

「NKBクラウド」は、広告配信のプロフェッショナルが創り上げた現場で機能するサイネージプラットフォームです。



## パブリックアートが紡ぎ出す 都市の文脈

一方、みなとみらい線の駅空間には、多様で豊かなパブリックアートが共存している。例えば、「横浜駅」に設置されている『VIVA YOKOHAMA』（絹谷幸二氏）は、横浜の華やぎと歴史、未来へのエネ

ルギーを表現した大作で、改札を歩き交う人々の心に都市の豊かさを印象づける。

「新高島駅」にある『Deep Sea Dreams』（ルイ・フランセン氏）は、海中の幻想的で神秘的な世界を表現し、都市の喧騒から一瞬心を解放してくれる。

「日本大通り駅」に設置されている



VIVA YOKOHAMA © 公益財団法人日本交通文化協会

「横浜港今昔」（柳原良平氏）は、横浜の港の過去から現在へと続く歴史をユーモラスで温かなタッチで描き、通勤・通学客や観光客の心を和ませる作品となっている。

また、「馬車道駅」に配されている『金波、銀波、Gold and Silver Waves』（澄川

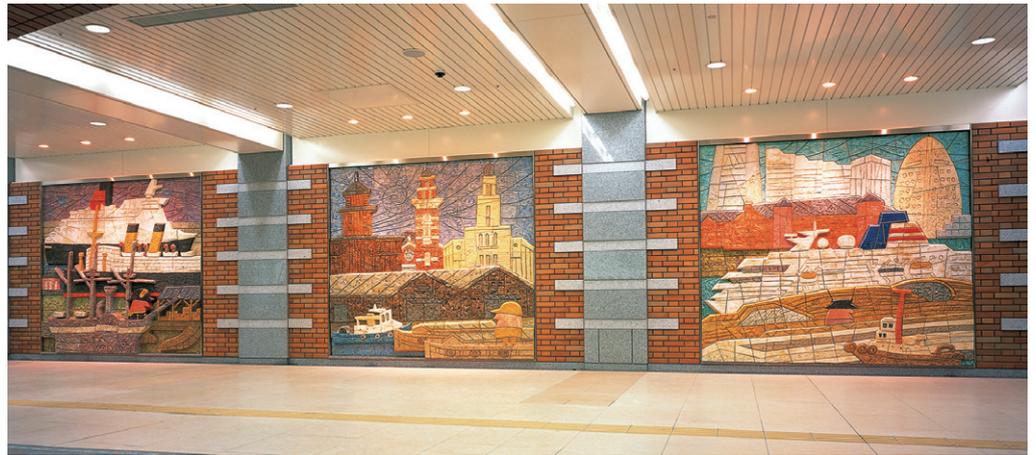


Deep Sea Dreams © 公益財団法人日本交通文化協会

喜一氏）は、横浜の港町の輝きを表現した、きらめきと豊潤さをまとったアートとなっている。これらの作品が、都市の歴史・文化・未来へのメッセージとなり、単なる通過空間であった駅を、「滞留・体験の場」に昇華している。

**広告メディアとアートの共存  
が生み出す価値**

みなとみらい線の駅空間で展開される広告メディアとアートは、単なる併存ではない。広告メディアが都市の「今」を表現し、アートが都市の「歴史や文脈、文化的価値」を表



横浜港今昔 © 公益財団法人日本交通文化協会

現することで、互いが共鳴し、相互の価値を高め合う関係となっている。デジタルサイネージの進化が、「単なる広告」を「都市の情報装置」に昇華した一方、アートの力が、「単なる通過点」であった駅を、「都市の豊かな表現の場」に転換した。その意味で、みなとみらい線の駅



金波、銀波 ~ Gold and Silver Waves ~ © 公益財団法人日本交通文化協会

空間は単なる交通インフラではない。広告・アート・情報・文化が交わる、多様で豊かなコミュニケーションの発信地となっている。デジタルサイネージとパブリックアートの共演こそが、未来へ向かう都市の姿を予兆し、訪れる人々の心に印象的で豊かな体験をもたらしているのである。

**パブリックアート創作拠点  
クレーレ熱海ゆがわら工房（静岡県熱海市泉 230-1）**

建築家・隈研吾氏的设计による「クレーレ熱海ゆがわら工房」は、熱海と信楽においてステンドグラスや陶板レリーフ、彫刻、モニュメントなどのパブリックアートを制作する、第一級の創造拠点です。

釉薬研究施設や焼成サンプル室、ステンドグラススタジオ、ショールームなども完備しており、多くのアーティストとのコラボレーションが展開されています。



© 公益財団法人日本交通文化協会

単なる通過空間から、多様で豊かな情報、文化、価値が交わる「都市の表現装置」へ。これこそが、みなとみらい線の駅空間が示す次世代の都市デザインの方向性となる。広告メディアとパブリックアートの共鳴が、横浜の未来を共につくり出している

## 土に触れる喜び

理事 阿部 徳章 (株)ジェイアール四国企画



22m<sup>2</sup>の家庭菜園

が他界し、妻と散歩中に貸し農園で汗をかき、男性を見て面白そう。ただ興味本位でわずか22m<sup>2</sup>の家庭菜園を始め

2016年から始めた家庭菜園も今年で10年目、これまでに育てた野菜は38種類(イチゴ、トマト、ピーマン、パプリカ、ナス、キュウリ、カボチャ、ズッキーニ、ゴーヤ、スイカ、マクワウリ、トウモロコシ、エダマメ、グリーンピース、ソラマメ、スナップエンドウ、オクラ、ジャガイモ、サトイモ、サツマイモ、ダイコン、カブ、ニンジン、ミズナ、コマツナ、キャベツ、ブロッコリー、ハクサイ、リーフレタス、サンチュ、ホウレンソウ、アスパラガス、ネギ、タマネギ、ニンニク、シソ、エゴマをして今年シヨウガに挑戦しています。)

愛媛県に住んでいた母に介護が必要となり私と妻が高松で看るようになりました。趣味のゴルフをやめて休みの日は介護の日々が4年間、2015年に母

が土づくりです。基本は、PHを調整するため石灰を施して2週間後、牛糞たい肥、鶏糞たい肥、元肥、米ぬか、もみ殻を施し、スコップ片手に汗だくになりながら何時間も耕します。これによって、PH調整ができた通気性、保水性、保肥性のある水はけの良いふかふかの土ができ、野菜の成長を促します。それと苦勞するのが害虫対策です。農薬は使わず、コンパニオンプランツを活用、防虫ネットや害虫を寄せ付けない対策を行っているものの、昨年の秋はヨトウムシが大発生、十分な作業は土・日に妻とともにピンセットで1匹1匹の駆除では追いつかず、ハクサイ・キャベツは穴だらけで悲惨な状況でした。最後に連作障害です。わずか22m<sup>2</sup>しかない畑で1年中何か植わっています。接木苗を選ぶなどの工夫もしますが、種類によっては2年から3年連作してはいけない野菜もあります。毎回手帳にどこに何を植えたかを記入し連作にならないようにしています。



9.1kgのスイカ

なりました。実際始めると色々な苦勞が待ち受けています。私が一番重視しているの



阿部農園のトウモロコシを収穫



孫たちもお手伝い中

借りた当初は興味本位でしたが、今思うと借りて良かったと感じています。一番はリラックスとストレス解消です。適度な運動量と何よりも仕事のことは忘れて、土に触れ、野菜の世話をするのは、気持ちや太陽を感じながら作業することで日々の疲れを癒してくれます。次に、雑誌、YouTube等で勉強し狭いスペースで自分なりにアレンジしながら育てる楽しさがあります。最後は、自分で育てた野菜を収穫する喜びです。時には孫たちと収穫して愛情をかけて育てた野菜を一緒に食べる喜びは格別です。自分で育てれば無農薬や有機栽培にも挑戦でき、いくら害虫で穴が開いていても安心して食べられます。これから、日々精進し、癒しを求めて家庭菜園を続けたいと思っています。

次回の広場もお楽しみに。

# 2025年度定期総会を開催

6月26日(木)14時00分、ホテルメトロポリタン(池袋)において、多数の会員が出席し、2025年度定期総会を開催し、2024年度事業報告及び決算、協会役員の選任案などを審議した。

## 新井会長あいさつ

本日は大変ご多用の中、2025年度のJAFRA定期総会にご出席いただき誠にありがとうございます。また日頃より当協会にご支援ご協力いただき心から感謝申し上げます。お蔭をもちまして2024年度の事業運営を終了することができました。皆様には色々な意味での指導ご鞭撻をいただき心より感謝申し上げます。

1年間を振り返ってみますと、そういう意味では内外とも激動な1年であったと思います。とりわけ海外ではウクライナ戦争の長期化、米中の対立、中東情勢の緊迫化など様々な不況要因が発生しました。一方国内では少子高齢化、年金など構造的な問題、加えて物価高、政治の劣化も相まって実体経済は大変苦しい中にあると思います。

また鉄道広告は全体として賃金と物価の好循環が動き出したということになりますので、穏やかな回復基調にあったと思います。鉄道事業は徐々にコロナ以前に戻りつつあると言われていますが、まだ道のりは先になるかと思いますが1日も早い回復を期待しています。

広告業界は、経済不況を吹き飛ばすかのように各企業が積極的な設備投資を行うことになっておりますのでその恩恵が3年連続で対前年超えをしています。広告業界は産業の下支えに大きく貢献をしているということになります。鉄道広告は経済情勢や各社の営業努力を積極的に展開したことからコロナ以前のあと少しまでに戻っています。そういう意味では堅調な回復をしていると言えます。一刻も早い鉄道広告のコロナ以前の水準に回復することが何より求められています。それはいかに成長軌道に乗せていくかを問われている

と感じますし、このような経営を取り巻く環境は内外とも厳しいですが、こうした厳しい状況にあっても、未曾有の大転換にあるからこそチャンス到来ということがいえます。このチャンスをしっかりと把握しながら前進することに尽きます。

これだけグローバルな状態が進みますと情報、あるいは様々な企業の取り組みというものをマーケットに知らしていくということが大切です。ますます広告の重要性が高まっています。こういうことを踏まえ、具体的な取り組みについては2024年度年次報告書に「次なる成長をめざして」という文にしたためましたので、読んでいただき、当協会に集う会員の皆様の復活の1年にしたいと考えていますので、より一層のご奮闘を期待しております。よろしくお願いします。

最後になりますが皆さまに強くお願いいたしますことは、こうした激

動の時代を迎えていることや経営を取り巻く状況が一層厳しくなっていることを踏まえ、経営のガバナンスやコンプライアンスを強化し、より一層経営の質を高めていくことに是非とも取り組んでいただくことを高い席から皆さまにお願い申し上げます。この1年会員の皆さまと当協会が一致協力し、この難局を乗り越えたわけですので、2025年につきましてもどうぞ皆さんと一致協力してやってまいりたいと思いますことをお願いして冒頭のご挨拶とさせていただきます。



挨拶する新井良亮会長

審議内容は以下のとおり。

## 第1号・第2号議案

2024年度事業報告及び決算報告については、薬師専務理事の説明と、清水勇宏監事代表の監査報告の後、採決の結果、委任状によるものを含め、定款第27条に基づく過半数の賛成により、本議案は提案通り議決された。



監査報告をする清水勇宏監事

## 第3号議案

### 理事の選任

理事の選任については定款第16条1項の規定により就任後2年目の定期総会終結の時までとなっているが、2024年定期総会后、7名の理事が人事異動等の事由により退任を希望しているのでこれを了承し、5月22日に開催した第1回理事会において承認された理事7名を下記の通り新たに選任したい、なお、任期は定款16条3項の規定により前任者

の残任期間としたいと発言があった。採決の結果、委任状によるものを含め、定款第27条に基づく過半数の賛成により、本案は提案通り議決され、被選任者はその就任を承諾した。

なお、副会長、常任理事については、定款第14条2項に基づき総会終了後、臨時理事会を開き選出したものである。(役員、委員長、支部長一覧は13、14ページに)

### 報告事項

#### 2025年度事業計画

日本経済は緩やかな回復基調であり、内需中心に底堅く推移して来ましたが。物価の上昇を踏まえた実質賃金は前年比プラスとなり、個人消費は実質賃金の回復や家計の節約志向の緩和から緩やかながら持ち直しており、2024年度のGDP成長率は実質で1.3%、名目で3.0%の上昇が見込まれています。

これまで鉄道事業は、社会、経済のインフラとしての役割を充分果たし、日々の社会生活に必要な顧客や物資の輸送による産業の発展に欠くことのない生活基盤としての使命は、今も基本的に変わっていません。激動の時代と地球温暖化の観点からも、これまで以上にその役割や期待をされています。従って、鉄道事業が直面する危機

の今日的意義は既存の思考や発想ではなく、大変化や激動の時代の中で生起する社会現象やマーケットニーズを的確に捉えて、スピード感を持って具体的な事業戦略を展開していくことにあります。

鉄道事業と密接な関係にある鉄道広告事業は、鉄道事業と同様、依然としてコロナ禍前の状況に回復していません。

しかし、広告業界全体では既にコロナ禍前の規模を越え順調に年々収益を伸ばしており、特にインターネット、WEB、SNSの領域が顕著です。これほどの収益規模があると言うことは、鉄道広告は悲観することはないし、活力を取り戻す絶好のチャンスが到来していると考えざるべきです。但し、従来からの発想や取組みを続けている限りは期待もされないし、既存事業の手直し程度で変わるものではありません。むしろ鉄道広告は、斬新な発想で付加価値を創造し、鉄道事業がこれまで踏み込んでいない新分野に果敢に挑戦し、鉄道事業の資産や空間の活用、新技術の活用、他媒体との情報連携による開発等々、積極的に挑戦し変革し実行していくことが、何よりも求められているのです。当協会においても各支部、各種委員会の取り組みをしっかりと下支えし、より活性化に向けて支援していきたいと考えています。

こうした現状を直視し、鉄道広告の

持つ公益性と果たすべき役割をあらためて認識したうえで、2025年度は次なる項目を重点課題として取り組んでいきます。

1. 鉄道広告価値の向上
2. 空き媒体の解消
3. 脱炭素社会への取り組み
4. 支部、委員会活動のより一層の活性化
5. 新規会員の加入促進

具体的な各施策については次ページ以降のとおりですが、会員の皆様方のご協力を得てこの激動の時代と厳しい経営環境下にある鉄道広告を一步でも前進させ、鉄道事業とともに活力あるビジネスへと踏み出す年にしたいと考えています。

### 1. 各委員会の主な活動目標

#### 総務・財務委員会

- ・新規会員の入会促進
- ・支部活動活性化支援
- ・年次報告書の作成
- ・他広告団体との交流

#### 総務・財務委員会

#### 稲川一委員長

例年とそう変わりませんが、当

協会も発足20年を数えることになりました。新会員の入会懇談などを改めて考えて積極的に取り組んでまいります。また、支部活動活性化支援も進めてまいります。毎年行っております年次報告書の作成を引き続き行います。最後に他の広告団体との交流を進めていきたいと考えております。



稲川一 総務・財務委員長

倫理委員会

倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握

- ・ 鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
- ・ 鉄道利用マナーUPキャンペーン実施に向けた働きかけ
- ・ 広告倫理に関する事例研究の実施
- ・ 日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

倫理委員会  
神田橋治委員長

社会基盤の一つである鉄道における交通広告は社会への発信力が大きく、また消費者の関心も高いことから倫理性を保持することが大変重要になっていきます。そのため、倫理委員会の活動については、国土交通省、各鉄道会社局、広告業界他団体のお力添えをいただき、またJAFRAの委員会、支部との連携を図りながら進めてまいります。2025年度も事業計画にございます5つの活動目標を中心に取り組んでまいりますのでよろしくお願いたします。



神田橋治 倫理委員長

美観風致委員会

環境委員会との共同による第19回地球温暖化防止キャンペーンの実施

美観風致に関する情報の収集

美観風致委員会  
滝久雄委員長

第19回地球温暖化防止キャンペーンを環境委員会との共同で実施いたします。アーティスト陣ですが平山郁夫氏は交代いたしました。芸員会員の天津英敏氏、日展理事長・文化功労者の宮田亮平氏、東京藝術大学学長日比野克彦氏、創建400年を迎える寛永寺天井画を担当された日本画の第一人者手塚雄二氏、それぞれの作家の協力をいただき、夏の風物詩といえるポスター86万部とデジタルサイネージにも掲出しています。昨年は沖縄でも展開して、地球温暖化防止とJAFRAの交通広告露出ということでも評価いただいています。それ以外でも、美観風致に関する情報の収集も進めてまいります。



滝久雄 美観風致委員長

環境委員会

- ・ 出版・発行物の環境への配慮
- ・ 「JAFRA環境方針」改訂に向けた取り組み
- ・ 美観風致委員会との共同による第19回地球温暖化防止キャンペーンの実施

環境委員会  
富田栄次委員長

今年度の事業計画案として、トランプアメリカ大統領再登場ということで環境問題の対策が暗礁に乗り上げているのが実情です。国連の気候変動枠組みCOPの先行きにつきましては不透明感が増しています。日本はいよいよ夏本番で酷暑の日々が続くということで早急な環境対策が非常に重要な喫緊の課題であると考えています。その中で委員会の活動ポイントを、3点あげています。出版発行物の環境への配慮、2番目としてJAFRA環境方針改定へ向けた取り組み、そして3番目に美観風致委員会との共同による地球温暖化防止全国キャンペーンの実施です。特に2番目のJAFRA環境方針改定作業におきましては、まずは会員各社の

実際取り組まれている環境活動の事例の調査から始めてまいりたいと考えております。その節には何卒ご支援ご協力のほどよろしくようお願い申し上げます。委員会報告といたします。



富田栄次環境委員長

#### 安全委員会

- ・安全管理に関する調査研究の推進
- ・安全作業に関する教育研修の実施

#### 安全委員会

#### 竹澤康行委員長

あらゆる広告媒体に関わる作業の安全の確保は極めて重要なことだと考えております。この安全確保が広告活動のスタートという位置づけでもいいと考えております。したがって引き続き安全管理に関する調査研究の推進や安全作業に関わる教育研修を実施してまいり

ます。ご協力をよろしく願います。



竹澤康行安全委員長

#### 標準化委員会

- ・2025年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録、公開

#### 標準化委員会

#### 大塚尚司委員長

例年通り全国交通広告料金表2025年度版の改訂版を協会ホームページに掲載しております。見やすさ、使いやすさについて皆様からご意見、ご希望をいただき、また次回の改訂に生かせればと思います。

#### 人材育成委員会

- ・「交通広告ビジネス概論2025別

- 冊版」の発行
- ・鉄道広告実務研修の実施
- ・セミナー、シンポジウムの開催

#### 人材育成委員会 川田博之委員長

人材育成委員会では昨年に引き続き、交通広告ビジネス概論2025年別冊の発行をいたします。また、首都圏支部をはじめとした各支部において会員各社を対象に交通広告の実務研修を実施できればと思っています。また、各支部におきまして話題性に富んだ内容としたセミナーの開催をして鉄道広告に従事する方々のスキルアップに努めていければと考えています。



川田博之人材育成委員長

#### 技術開発委員会

- ・デジタルテクノロジー等を活用し

た、交通広告の価値向上や価値訴求に資する効果的、先進的な取り組み事例の収集、紹介

- ・交通広告が他媒体との競争力を維持し、連携を強化していくための、新技術を活用した、メッセージングやプログラマティックDOOH等の先進的な取り組み事例の収集、紹介
- ・交通広告でのAI技術の活用事例の収集、紹介

#### 技術開発委員会 伊藤義彦委員長

2025年度の事業計画にありますとおり、広告業界全体ではすでにコロナ禍の規模を超える順調な伸びを示していますが、鉄道事業と同様、鉄道広告事業については依然コロナ禍を脱出していないというところです。この脱出のところにはネット、ウエブ、SNS等の領域の取り組みが大切だと思っています。そこで、2024年度から引き続きデジタルテクノロジーを活用した交通広告の価値向上や効果的先進事例の収集・紹介、交通広告が他媒体との協力を維持するための新技術を活用したメッセージングやプログラマティックDOOH等の先進的な取り組み

みの事例の収集・紹介を行いたいと思います。加えて2025年度では、交通広告のAI技術の活動事例の収集・紹介についても行ってまいります。



伊藤義彦技術開発委員長

**調査研究委員会**

- ・効率的なメディアプランニングに関する研究の促進
- ・e-販促データシステムのデータ整備と利用者拡大に向けた取り組み
- ・e-販促データシステム研修（活用方法、活用例の紹介）

**調査研究委員会**

栗原圭一委員長

当委員会では鉄道広告の売り上げを増加させるためのメディアプランニングに関する研究、をe-販促データシステムの整備と利用者拡大に向けた取り組みを目指し

て頑張つてまいります。



栗原圭一調査研究委員長

**業務近代化委員会**

- ・業務近代化に関する課題の提言
- ・働き方改革の検討
- ・デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討

業務近代化委員長  
櫻井順委員長

当委員会では業務近代化に関する



櫻井順業務近代化委員長

課題の提言を行うとともに、働き方改革の検討、デジタルサイネージの導入等による近代化目標の設置の件等を進めていきたいと思っています。

**PR委員会**

- ・「JAFRA NEWS」の編集・発行と掲載内容の充実化
- ・JAFRAホームページ改良による情報発信の強化
- ・関係する外部機関との連携強化

PR委員会  
佐藤一哉委員長

会員の皆様にとって身近な存在である「JAFRA NEWS」を引き続き発行してまいります。読んで楽しく役立つ内容により工夫してまいります。また、ホームページにつきましても、改良し情報発信の強化をしてまいります。中身はもちろん、使い勝手も重要だと思っております。引き続きご意見など頂けたらと思います。最後に他広告団体など関係する外部機関との連携強化を引き続き図ってまいります。

**アカウンタビリティ向上委員会**

標準化委員会、調査研究委員会、業

務近代化委員会と連携してアカウンタビリティ拡充・データ整備

- ・関東交通広告協議会、日本広告業協会と連携して調査実施、データ整備
- ・交通広告共通指標策定システムの運用及びシステム利用会員の拡大
- ・関係する外部機関との連携強化

アカウンタビリティ向上委員会  
大塚尚司委員長

関東11社会にはご協力いただきありがとうございます。24年度の調査で、電車の中でスマホを見ている人は車内広告を見ていないのではないかという意見があります。実際に調べてみますとスマホを利用して人ほど広告に関心がある、特にSNSを使っている人は関心を持っているというデータをつかんでおります。車両メディアにおきます広告の調査ですが、データがずいぶん蓄積されて



大塚尚司アカウンタビリティ向上委員長

おりますので、同じ調査に関しては隔年調査とし、25年度に関しては乗降客の広告に対する意識などについて調査していきたいと考えております。

## 2. 各支部の主な活動目標

### 北海道支部

- 支部総会・講演会・懇親会の開催…7月
- 媒体視察研修会の開催…11月
- 交通広告勉強会の開催…12月
- 新年懇親会の開催…2026年1月
- 新規会員の入会促進（以降各支部共通）
- 第19回地球温暖化防止キャンペーンの実施（以降各支部共通）

### 北海道支部

長谷川潤支部長

支部の活動計画につきましては、記載のとおりです。特に7月に開



長谷川潤北海道支部長

催される講演会については、札幌駅新幹線工事に伴い駅周辺が様変わりしていくなか、札幌都心の街づくりの考え方についての講演を予定しております。

また、新規会員の促進につきましては、昨年度は新規会員4社となりましたので、引き続き、会員獲得に向け活動していきたいと思っております。

### 東北支部

- 支部総会・懇親会の開催…7月
- 支部セミナー等の開催…7月
- 東日本鉄道仙台台広告会との連携

### 東北支部

百々潤司支部長代理  
薬師専務理事

例年通り7月に支部総会、懇親会、支部セミナーを計画いたします。東日本鉄道仙台台広告会との連携を図ることを考えてまいります。

### 首都圏支部

- 支部総会・懇親会の開催…7月
- 支部セミナーの開催…7月、11月、2026年3月
- 支部幹事会の開催…7月、2026年

- 3月
- 鉄道広告実務研修の実施…10月
- 地域間交流の促進、交通媒体広告会との連携

### 首都圏支部

赤石良治支部長代理  
薬師専務理事

支部総会、懇親会を例年7月に開催を計画しています。また支部セミナーは3回計画しており、7月、11月、2026年3月に開催予定です。支部幹事会の開催についても7月、2026年3月の2回開催予定です。毎年行っている鉄道広告実務研修を10月に計画、それ以外には地域間交流の促進、交通媒体広告会との連携を図ってまいります。

### 中部支部

- 支部総会・意見交換会の開催…7月
- 媒体視察研修の実施…時期検討中
- 支部セミナーの開催…2026年3月
- 支部幹事会の開催…適宜開催

### 中部支部

佐藤一哉支部長

他地区と同様の内容ですが、支部総会、意見交換会を7月に

開催いたします。また、媒体視察研修につきましては現在内容及び時期について検討を進めているところですが、支部セミナーにつきましては、2026年3月、支部幹事会は比較的頻繁に行っておりますが、適宜開催してまいります。



佐藤一哉中部支部長

### 近畿・中国・北陸支部

- 支部幹事会の開催…7月、2026年3月
- 支部総会・懇親会の開催…7月
- 支部セミナーの開催…7月
- 交通広告実務研修会の実施…9月
- 関西交通媒体社広告会、関係諸団体との連携

### 近畿・中国・北陸支部

伊藤義彦支部長

支部の活動計画については、記

載の通りです。特に7月に開催するセミナーにつきまして、この4月に開幕して連日にぎわっております大阪・関西万博の広報プロモーションについて講演を公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の広報プロモーションの担当局長木村和昭氏にお願いすることにしていきますので、お楽しみにしていただければと思います。中国エリアでは広島駅の再整備が着々と進んでおり、8月には新たな路面電車のルートの開業が控えております。当支部におきましても各支部との連携し支部の発展に取り組んでまいります。

四国支部

- ・支部総会・懇親会の開催…6月
- ・媒体視察研修会の開催…11月
- ・支部講演会・意見交換会の開催…2026年2月

四国支部  
阿部徳章支部長代理  
薬師専務理事

支部総会、懇親会を6月に計画しています。今年度においても媒体視察研修を11月に開催予定です。支部講演会、意見交換会の開催につきましても2026

年2月に計画しています。

九州支部

- ・支部総会・懇親会の開催…8月
- ・支部セミナーの開催…8月
- ・支部運営会議の開催…6月、2026年3月
- ・西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携

九州支部  
盛澤篤司支部長

活動計画は、議案書に記載のとおりですが、8月7日に支部総会を開催いたします。会員の皆様と一緒に、鉄道広告の価値向上に努めてまいります。



盛澤篤司九州支部長

3. 今後の協会行事計画

・理事会

- 第2回 2025年12月4日(木) 14時30分(株)ジェイアール東日本企画 10階大会議会議室
- 第3回 2026年3月5日(木) 15時30分(株)ジェイアール東日本企画 10階大会議会議室
- ・広告界合同年賀会 2026年1月(水) 帝国ホテル

この他、2025年度予算、第19回地球温暖化防止キャンペーン展開計画についての説明があり、以上をもって15時07分、2025年度定期総会は滞りなく終了した。

なお、これに先立つ5月22日に開催した第1回理事会及び、6月26日定期総会後に開催した臨時理事会において、次の項目が承認された。

〈2025年5月22日付〉

○新規会員の入会正会員1社  
(株)プランズワン

代表者…代表取締役 藤原 忍  
所在地…宮城県仙台市青葉区

○賛助会員1社

富士フィルムイメージングシステムズ(株)  
仙台営業所

代表者…営業所長 山口 学

所在地…宮城県仙台市宮城野区

〈2025年5月22日時点〉  
正会員社273社、賛助会員社27社  
計300社

〈2025年6月26日付〉

- 支部長・副委員長の委嘱  
首都圏支部 支部長  
(新任) 石川 明彦 (株)ジェイアール東日本企画 代表取締役社長  
(退任) 赤石 良治

○副委員長の委嘱

- 総務・財務委員会副委員長  
(新任) 竹島 博行 (株)ジェイアール東日本企画 専務取締役  
(退任) 小野 伸司

○技術開発委員会副委員長

- (新任) 大島 諭 (株)JR西日本コミュニケーションズ 取締役  
交通部門担当  
(退任) 西原 洋子

〈2025年6月27日付〉

- 北海道支部 支部長  
(新任) 滝沢 健 (株)JR北海道ソリューションズ 代表取締役社長  
就任予定
- (退任) 長谷川 潤

(株)JR北海道ソリューションズの役員異動に合わせ、支部長の委嘱(6月27日付)を行うこととする。

以上

## ●セミナー

定期総会終了後、セミナーを開催した。元官僚で財務省の主税局長などを務められた矢野康治氏を講師にお迎えして「我が国の財政について」というタイトルで講演をいただきました。

日本の財政は危機的状況にあり、その原因は社会保障費の急増、少子高齢化による人口減少などによるものである。消費税を段階的に5↓8↓10%引き上げ「ネット増税」も行い、税収は増えたが、それを上回るペースで支出が増えており借金は増え続けている。少子高齢化の進行は深刻であり、65歳以上の人口比率は世界最高水準にある。今後も出生率の改善見込みはなく、社会保障の持続は厳しくなる。これからは、長寿化と高齢者の定義の見直しを図り、年金受給の年齢を見直すべきで、65歳定年の見直し、5年ごとに1歳程度のアップデートをしたらどうだろうか。日本の高齢化率は世界一だが、健康寿命も世界一である。これからは「活躍長寿」社会へ進んでいけたらという提言がなされ、我々の今後に直結する衝撃的な内容でもあり、多くの方が熱心に聴講されていました。

## ●懇親会

セミナー終了後、多数の皆さまに出席いただき懇親会を開催しました。まず、新井良亮会長が挨拶、お忙しい中ご来



### 矢野康治氏プロフィール

1962年生まれ。山口県出身。1985年大蔵省（現 財務省）入省。その後、小樽税務署長、国税庁、ハーバード大学客員研究員、証券局、国家戦略室参事官、社会保障改革担当室参事官、内閣官房長官秘書官、主税局長、主計局長、財務事務次官など重要ポストを歴任。現在、神奈川大学特別招聘教授、国際医療福祉大学社会保障政策研究所長。著書：「決断！待ったなしの日本財政危機」東信堂

席いただいた来賓を代表して国土交通省鉄道局鉄道サービス政策室長三島梨加様と東日本旅客鉄道株式会社常務取締役マーケティング本部長中川晴美様より、ご挨拶をいただきました。

### 新井良亮会長挨拶

6月という総会シーズンを迎えており、大変お忙しい中、また遠くからお集まりいただきありがとうございます。

当協会も様々な提案をしてさらに発展していく中でマーケティングを活性化していきたいと考えています。広告が順調に伸びれば社会も大きく変わり、広告や情報が社会の大きな役割を担っておりますので、我々の存在価値をアピールして進めてまいります。ぜひ、

今日皆さんと一緒にひと時を過ごしながら交流し、情報交換をしてまいります。この一年も皆様と一致協力して活動してまいりますのでよろしくお願いたします。

### 来賓あいさつ

#### 国土交通省鉄道局

#### 鉄道サービス政策室長 三島梨加氏

日本鉄道広告協会様におかれましては、平成17年の社団法人設立以降、今日まで鉄道広告業界の発展に寄与されておりますが、これまでの役職員の方々の熱意とご尽力、加えて会員の皆様の協会活動への熱心な参画に深く敬意を表します。

JAFRAの取組みの一つである地球温暖化防止全国ポスターキャンペーンは、環境にやさしい鉄道を活用して国民一人一人が取り組むべき課題である地球温暖化防止対策、環境保全への啓もうということで国土交通省としても非常に重要な取組みだと考えております。このキャンペーンの実施に当たり協会からも多大なご協力をいただいております。国土交通省としても、引き続きこうした取組みに連携して取り組んでいければと考えております。鉄道は駅、車両が多くの人々に利用される空間であり、その中での広告は多くの人の目に留まり、また関心も高く、広告における倫理の保持、美観風致との調和といった協会の取組みは、社会

からの関心や期待も高く非常に重要であると考えております。引き続き、協会の設立趣旨に則った取組みを推進していただきますようこの場を借りてお願いいたします。

最後に、協会および会員の皆様のおすすめのご発展・ご健勝、鉄道業界の更なる発展を祈念して、挨拶とさせていただきます。



国土交通省 三島梨加氏

### 東日本旅客鉄道株式会社

#### 常務取締役 マーケティング本部長

#### 中川晴美氏

JAFRAの会員の皆様におかれましては日頃より鉄道広告を盛り上げていただき、多大なるご協力、ご支援を賜りまして心から感謝をいたします。電通による日本の広告費が昨年度は7兆7千億円と過去最高だったということですが、その内鉄道広告は1600億円弱、対前年度108.5%ということですが、着実に前年度よりは伸びています。私共の広告の状況を調べたところ、コロナ前と比べると、直近では8割前後を上下していて、なかなか

か厳しい状況だと思えます。そのような中ですが、秋葉原駅にAKIBA WARP（アキバワープ）というイメージ空間を今年4月にオープンいたしました。連なるビジョンとシートから構成される8本の柱を通り抜ける体感、異世界にワープしたかのようなワクワクする空間であることを表現しているということですが、駅にお越しの皆様から、遊園地に来たみたいという声もいただいております。また、去年から始めた列車の中のTRAIN TVも番組がどんどんブラッシュアップして、大変ご好評をいただいております、これからもお客様や広告主の皆様から喜んでいただけるような広告を目指してまいります。引き続き私も協力してまいります。



東日本旅客鉄道株式会社  
中川晴美氏

臨時理事会で選出された石川明彦会長代行副会長による乾杯の発声の後、

会員の皆さまは、和やかに歓談し親睦を深められた。

中締め挨拶 川田博之副会長

無事に総会も終わり、これから1年活動してまいります。先ほどのセミナーによりますと、ここにいる多くの人は年金をもらうのを先延ばしにして働くのが使命だということが分かりました。その働くにあたりましては会社をちゃんと経営していかなくてはなりません。鉄道広告もGDPに比例すると言われます。そのGDPを上げていくにしても、我々がどこまでできるのか、なかなか読めない世界になっています。でもそんな中で鉄道広告を盛り上げて、我々の仕事を今後も拡大して、少しでも若い人に迷惑をかけるように働くことを我々の世代から始めていきたいなと思います。今後の鉄道広告の発展、今日お越しの皆様への会社の発展、いらっしやっっている皆様のご健勝を祈念いたします。



中締めの挨拶をする川田博之副会長

役員一覧（\*は新任）

会長（1名）

新井 良亮 公益社団法人 日本鉄道広告協会

会長代行副会長（1名）

石川 明彦\* (株)ジェイアール東日本企画

副会長（4名）

滝 久雄 (株)NKB

杉本 公男 協立広告(株)

川田 博之 (株)メトロアドエージェンシー

伊藤 義彦 (株)JR西日本コミュニケーションズ

常任理事（11名）

富田 栄次 (株)大阪オリコミ

大塚 尚司 (株)オリコム

盛澤 篤司 JR九州エージェンシー(株)

佐藤 一哉 (株)JR東海エージェンシー

望月 敏弘 (株)春光社

櫻井 順\* (株)電通

若菜 春孝 (株)東急エージェンシー

神田橋 治 (株)TOMOE

中村 晃 (株)日交

稲川 一 (株)文宣

栗原 圭一 (株)ムサシノ広告社

専務理事（1名）

薬師 晃 公益社団法人 日本鉄道広告協会

理事（21名）

山口 淳 (株)小田急エージェンシー

辻元 伸明\* 小田急電鉄(株)

鷹野 恵一\* 九州旅客鉄道(株)

佃 侑彦郎 近畿日本鉄道(株)

永田 直人\* 京阪電気鉄道(株)

阿部 徳章 (株)ジェイアール四国企画

田中 里沙 事業構想大学院大学

林 香弘 西武鉄道(株)

大津 英敏 多摩美術大学

新井 秀夫 (株)電通名鉄コミュニケーションズ

國枝 伸行\* 東急(株)

丸山 智巳 東京藝術大学

佐藤 肇 東京地下鉄(株)

有村 早苗 南海電気鉄道(株)

藤 浩士 西日本鉄道(株)

小田 雄生 西日本旅客鉄道(株)

中村 隆 (株)日交西部本社

鈴木 宣幸 一般社団法人日本雑誌協会

米田 龍司 (株)日本宣交社

高木 浩一\* 東日本旅客鉄道(株)

林 雅子 北海道旅客鉄道(株)

監事（4名）

清水 勇宏 (株)近宣

竹澤 康行 JR東日本メディア(株)

松本 俊介 公益社団法人日本広告審査機構

坂野 茂 (株)毎日広告社

委員会（\*は新任）

総務・財務委員会

委員長 稲川 一 (株)文宣  
副委員長 中村 晃 (株)日交  
副委員長 竹島 博行\*  
(株)ジェイオール東日本  
企画

倫理委員会

委員長 神田橋 治  
(株)TOME  
副委員長 中馬 輝彦  
キング鉄道広告(株)

美観風致委員会

委員長 滝 久雄 (株)NKB  
副委員長 中村 隆  
(株)日交西部本社  
副委員長 田中 里沙  
事業構想大学院大学

安全委員会

委員長 竹澤 康行  
JR東日本メディア(株)  
副委員長 城戸 正幸  
(株)アド近鉄

環境委員会

委員長 富田 栄次  
(株)大阪オリコミ  
副委員長 田中 幸夫  
(株)大阪オリコミ

標準化委員会

委員長 大塚 尚司  
(株)オリコム

人材育成委員会

副委員長 池谷 裕志  
協立広告(株)  
委員長 川田 博之  
(株)メトロアドエージェンシー  
副委員長 片浦 一郎  
(株)電通名鉄コミュニケ  
ーションズ  
副委員長 古川 義夫  
(株)ジェイオール東日本  
企画

技術開発委員会

委員長 伊藤 義彦  
(株)JR西日本コミュニ  
ケーションズ  
副委員長 望月 敏弘 (株)春光社  
副委員長 山本 孝  
(株)ジェイオール東日本  
企画

調査研究委員会

委員長 栗原 圭一  
(株)ムサシノ広告社  
副委員長 藤原 英樹  
(株)小田急エージェンシー  
副委員長 櫻井 順\*(株)電通

業務近代化委員会

委員長 櫻井 順\*(株)電通  
副委員長 阿部 徳章  
(株)ジェイオール四国企画  
PR委員会  
委員長 佐藤 一哉  
(株)JR東海エージェン  
シー  
副委員長 田中 里沙  
事業構想大学院大学

アカウンタビリティ向上委員会

委員長 大塚 尚司 (株)オリコム  
副委員長 櫻井 順\*(株)電通  
副委員長 高橋 隆晃  
(株)博報堂DYアウトドア  
副委員長 栗原 圭一  
(株)ムサシノ広告社

支部（\*は新任）

北海道支部

支部長 滝沢 健\*  
(株)JR北海道ソリュー  
ションズ  
副支部長 竹谷 英一  
(株)交通新聞社北海道支社

東北支部

支部長 百々 潤司  
(株)ジェイオール東日本企  
画 仙台支社  
副支部長 布 正勝  
(株)近宣 仙台支社

首都圏支部

支部長 石川 明彦\*  
(株)ジェイオール東日本  
企画  
副支部長 滝 久雄 (株)NKB  
支部長 佐藤 一哉  
(株)JR東海エージェン  
シー  
副支部長 新井 秀夫  
(株)電通名鉄コミュニケ  
ーションズ

近畿・中国・北陸支部

支部長 伊藤 義彦  
(株)JR西日本コミュニ  
ケーションズ  
副支部長 富田 栄次  
(株)大阪オリコミ

四国支部

支部長 阿部 徳章  
(株)ジェイオール四国企画  
副支部長 塩 英寿  
西日本広告(株)

九州支部

支部長 盛澤 篤司  
JR九州エージェンシ  
ー(株)  
副支部長 中村 隆  
(株)日交西部本社  
副支部長 庄山 和利  
(株)西鉄エージェンシー

# 第19回「地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン」を開催！

## エキから

つづけエキからの物語。  
エコな鉄道とともに。

JAFRA（会長・新井良亮、東京都渋谷区）は、19回目となる「地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン」を今年も実施いたします。

8月の鉄道広告を鮮やかに彩るこのキャンペーンは、ご協力をいただいた全国のJR、私鉄、地下鉄37社局の駅及び車両内のポスター枠を利用して、ポスターとデジタルサイネージで展開するものです。

「エキから」。いつも生活で利用している鉄道の近くのエキから、その物語をエコな鉄道とともに届けたいと考えています。鉄道各社局の環境対策への取り組み、これまでの作品を閲覧できるアーカイブス駅や街中で目にするこのことのできるパブリックアート、交通に関する博物館、鉄道各社局が発行する会報誌なども紹介しています。こちらへも、ぜひアクセスください。



テーマポスター

<https://www.jafra.jp/eco/index.html>

### 〈キャンペーンの概要〉

1. タイトル  
第19回地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン
2. 全体テーマ  
「エキから」
3. ポスターテーマ  
美しい環境と多様な生物
4. 実施期間  
2025年8月1日（金）  
～ 8月31日（日）

### 5. ポスター種類

駅ポスターB1ポスター×5種類  
車内ポスターB3ポスター×5種類  
駅デジタルサイネージ

### 6. 制作協力

ビジュアル提供・・・  
宮田亮平  
金工作家／東京藝術大学名誉教授  
「シユプリンゲン」

### 日比野克彦

大津英敏  
洋画家／多摩美術大学名誉教授  
「なかよし」  
手塚雄二  
日本画家／東京藝術大学名誉教授  
「東叡山寛永寺 根本中堂奉納天井 絵 叡獄双龍」  
日比野克彦  
アーティスト／東京藝術大学長  
「聞こえないけど聞こえてる」  
コピーライター・・・梅田大輔

### 7. 主催

公益社団法人日本鉄道広告協会

### 8. 協賛

一般財団法人日本宝くじ協会

### 9. 後援

環境省、国土交通省

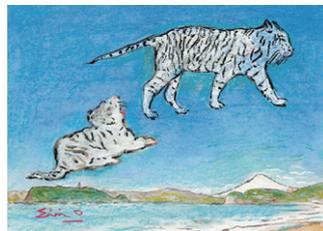
### 10. 協力

Osaka Metro、沖縄都市モノレール  
株、小田急電鉄株、九州旅客鉄道株、京都市交通局、近畿日本鉄道株、京王電鉄株、京成電鉄株、京阪電気鉄道株、京浜急行電鉄株、神戸市交通局、埼玉高速鉄道株、相模鉄道株、札幌市交通局、山陽電気鉄道株、四国旅客鉄道株、首都圏新都市鉄道株、西武鉄道株、東海旅客鉄道株、東急電鉄株、東京地下鉄株、東京都交通局、東京モノレール株、東京臨海高速鉄道株、東武鉄道株、東葉高速鉄道株、名古屋市交通局、名古屋鉄道株、南海電気鉄道株、西日本鉄道株、西日本旅客鉄道株、阪急電鉄株、阪神電気鉄道株、東日本旅客鉄道株、北海道旅客鉄道株、横浜高速鉄道株、横浜市交通局

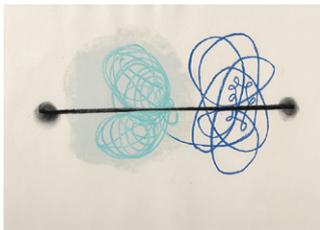
（37社局、五十音順）



宮田 亮平「シュプリンゲン」



大津 英敏「なかよし」



日比野 克彦「聞こえないけど聞こえてる」



手塚 雄二「東叡山永寺 根本中堂奉納天井 絵 叡獄双龍」

委員会便り

総務・財務委員会

2024年度年次報告書を発行

総務・財務委員会（稲川一委員長）では年次報告書を発行した。JAFRAの2024年度1年間の活動成果を記録として留めてあるほか、2024年日本の広告費、地球温暖化防止全国広告キャンペーン、交通広告共通指標推進プロジェクトのリリースなど事業報告を掲載している。2025年6月26日発行



A4サイズ 88ページ 4色

調査研究委員会・アカウンタビリティ向上委員会

「e・販促データシステム」&「交通広告共通指標システム」講習会開催

調査研究委員会（栗原圭一委員長）、アカウンタビリティ向上委員会（大塚

尚司委員長）では合同で、去る6月10日（火）に東京会場、6月16日（月）に大阪会場にて開催しました。それぞれのシステムの利用方法や営業資料への活用方法等について、両会場合わせて71名の方が受講いたしました。



講習会東京会場

支部便り

四国支部

支部総会を開催しました

四国支部（阿部 徳章支部長）では6月6日（金）アーベルアンジェ高松において、2025年度定期総会を開催し11社14名（2社は委任状）の皆様にご参加いただきました。



挨拶する阿部徳章支部長

総会では、阿部支部長の挨拶後、5つの議案について審議の結果、満場一致で了承されました。

また、総会後の意見交換会には、11社20名の皆様にご参加いただき、初めて参加される会員の方もいらつしやるなど、会員相互の活発な意見交換と親睦を深める会となりました。

1. 開催月日：2025年6月6日（金）
2. 開催時間：17時00分～17時15分
3. 会場：アーベルアンジェ高松
4. 議題

- (1) 2024年度事業報告
  - (2) 2024年度決算
  - (3) 2025年度事業計画（案）
  - (4) 2025年度予算（案）
  - (5) 役員改選（案）
5. 参加者 支部会員11社14名



会議中の支部会員の皆様

編集後記

日本水準原点をご存知ですか。日本の土地の高さの基準である場所なのですが、年に1日だけ公開されるといので見学に行きました。RPGゲームに出てくる、村はずれの祠といったたずまいの石造りの建物「日本水準原点標庫」とい、国の重要文化財に指定されていて、「日本水準原点」はこの中のキューブ状のもので。この地点の海拔は24.4140mと定められましたが、2011年の東北地方太平洋沖地震に伴い、原点数値は24.3900に変更されています。無料で公開されますので、興味のある方は、来年ぜひどうぞ！



重要文化財 日本水準原点標庫

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。  
information@j-jafra.jp

●会員社の代表者、他が変更になった場合は、ホームページ (<https://j-jafra.jp>) の「各種届出書類」に変更届がありますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力をお願いします。



●次号Vol.92は10月1日発行予定です。楽しみに。